

2011年
6月 No.344

SINCE 1977

発行所／〒380-0813 長野市緑町1714-5
長野市ボランティアセンター内
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513
URL <http://vnetnagano.or.jp>
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp



この夏 サマーチャレンジボランティア2011
なりたい自分になれる！



この夏 なりたい自分になれる！



送り出す

◎中学校の場合

本校では総合的な学習の時間の中で、ボランティア活動に取り組みます。しかし、ボランティアに興味があるものの「やりかたがわからない」「どんなボランティアがあるのか」「自分にできるのか」「きっかけがない」など、実際に活動しようとしても、その幅は広く、中学生が初めてボランティアに取り組む場合は、ある程度の枠を設けて学習に適するように調整することが必要です。その点、サマチャレは、中学生に適した地域のボランティアを紹介してくれるのですが、

自分で得意だと認識していたことが、実際にやってみると思うようにできなかったり、その逆だったりする場合があります。ボランティア学習に取り組むことで、自分自身に対する理解が深まる同時に、関わり合う人たちや社会全体に対する理解や興味・関心も広がるのではないかでしょうか。更に、年齢の異なる人たち、価値観の異なる人たちなど、さまざまな人たちとの関わりを通して、自分の意思・意見を表現したり、相手の思いを受け入れたりすることでコミュニケーション力も育ち、自己表現や他者受容の楽しさや難しさを経験してほしいです。

(広徳中学校・小出俊彦先生)

（サマーチャレンジボランティア）は、ふだんボランティアには縁のない人や、自分で何をしていいのかわからず、きっかけを見つけられずにいる人たちに、夏休みを利用してボランティア活動を体験してもらうプログラムです。若者のボランティア活動を広げるためのプログラムが、今では多くの年齢層の人に参加してもらい、次につなげてもらうためのものになってきています。

長く紡いできたサマチャレの歴史は、ボランティアセンターの思いだけでなく、子どもたちを送り出す学校の思い、受け入れ先の思いと共にあります。5月17日に開催した受け入れ先会議でも「ボランティアを受け入れるってどういうこと？」との問いに、みなさん互いの気づきや変化を期待しているという答えが多く、熱い思いがこのプログラムを支えていることを確認しました。

そこで、今回の特集ではサマチャレに関わる人々の思いやエピソードを取材してみました。

◎児童センターの場合
この児童センターで育った子が大きくなつて参加することも少なくなく、成長した子どもたちに再び会えるのはサマチャレならではです。サマチャレは児童たちにも参加されるみなさんにもいい機会です。

なにより新しい遊び相手のお兄さん、お姉さんの出現に子どもたちの目が輝いて、たつた3日の活動でもこちらがやきもちをやくほど児童たちの空気が変わります（笑）。

以前、友だちに誘われて気乗りしないままついてきた男子高校生がいました。やる気はあるのかないのか。。。でも実際3日間活動してみたら、なんと！現在の彼は保育士を目指して勉学中！サマチャレ中にどうしても保育士になりたいとの夢を見つけたんだそうです。

誰も寄つてこないのでと心配しないでも大丈夫です。ただ来てくれるだけでいいんです。1時間もその間にいれば子どものほうから寄りますから。子どもたちはちゃんと見ていて、それぞれに自分の好きなお兄ちゃん、お姉ちゃんを見つけてから。

(A児童センター・M先生談)



田中正廣理事長談

サマチャレ

受けられる

◎高齢者施設の場合

サマチャレに参加するのは「小さな一歩」。そこから、人と出会い、人との関係に入っていくのは「大きな一歩」です。その一歩を踏み出せば人につながり、いろいろなことに気づき、新しい自分を発見し、それが未来の希望へつながります。

自分から積極的に何かしなければならない不安にならなくとも大丈夫です。お年寄りの方はちゃんと見ています。そこは人生の大先輩、あなたの様子はわかつてらっしゃるから、身をゆだねるだけでいいんです。

そして、何かをするボランティアではなく、何かを託されるボランティアになつてください。それがボランティアを続ける秘訣にもなります。（グループもみじ）

この夏 なりたい自分になれる！



サマチャレ体験 こんなこと

グループホームあさかわは平成19年開所の翌年からサマチャレを受け入れています。

参加するみなさんに特に期待することは、お年寄りのお話をじっくり聞いてあげることです。普段、職員は忙しくてなかなかゆっくりお話を聴いてあげられません。サマチャレ参加のみなさんが聴いてくれると、お年寄りたちには新鮮で、とても喜んでくれます。

また、認知症のお年寄りにどう接したらいいかわからないうといふ声を初めのうちは聞きますが、話すことを通して、ごく普通のお年寄りだということを知つてほしいです。皆さんから毎年若さと元気をたくさんもらっています。（職員・柳澤可代子さん）

特技を披露

宮島美加さん

昨年は、通っている専門学校の授業の一環としてサマチャレに参加しました。

参加前はどうな活動をすればよいかで不安でいっぱい。
そこで、何か得意なことを披露していくといふと活動内容があつたので、和太鼓の楽しさをグループホームのお年寄りにも体験してもらいたいと思ふ和太鼓演奏を選びました。それ

というのも、自分が初めて和太鼓を近くで聴いた時の体に伝わる振動の驚きと、以前わたしが太鼓を披露した時に、おばあちゃんが「昔は女性は和太鼓に触れさせてもらえなかつた」と言つてとても喜んでくれた経験があつたからです。演奏を終えた後「太鼓、良かつたよ」と手を握つてくれた方があり、「初めてたたいたよ」とうれしそうに何度も言つていただいただけで感激でした。

サマチャレ参加中はお年寄りとどうすれば上手にコミュニケーションを続けられるかと、ずっと考えていらっしゃる着かず、参加後は終わってホツと落着けど、自分のコミュニケーション力を不足を感じました。

今年サマチャレに参加されるみなさんは、わたしのように不安や苦手意識を持って参加される方もいらっしゃると思います。ボランティアに行くのだからしっかりとやらなくちゃ、ちゃんとお手伝いしなくちゃとどう先に選んだ施設によつても、もちろん様子は違うと思いますが、施設の方のお話をよく聞いてたくさんうなづいて、一緒に笑つて自分も楽しむことが大きな収穫になるのではないでしようか。

（文…長野平青学園2年 宮島美加）
（共同取材…茶嶋宏明ほか）



この夏、なりたい自分になれる！ 体験をみなさんもしてみてはいかがでしょうか？

↑グループホームの利用者さんと一緒に楽しむ宮島さん

◎宮島さんに太鼓を披露したいと言われた時は？

「へへ、意外、と。でもぜひやつてほしい！」 そう思いました。太鼓に触れる機会なんて限られているけれど、でも、お年寄りの方たちはみんな、夏祭りとかで親しまれている。それならぜひひにとお願いしたら、宮島さんもすぐに用意してくれました

◎みんなさんの様子は？

「すごく喜ばれました。たたいてみたいと希望する方もいて、宮島さんも樂しそうでした」

◎宮島さんの様子は？

「認知症のお年寄りということもあって、最初はやっぱり不安そうでしたけど、でも宮島さんは落着いて、お年寄りの方たちの話をよく聴いてくださり、とてもよかったです」

「つい先日、宮島さんから、今年は和太鼓のチームを組んだので、施設の夏祭りに参加したいと連絡がありました。サマチャレを受け入れて、こうしてつながつたのは初めてです。いい機会になりました」

そのため、昨年度は参加者一人一人の「やりたい気持ち」を大切にできるプログラムを模索しました。今年度もサマチャレは、やりたい気持ちに寄り添いつつ、さまざまなボランティア活動に触れてもらうため、会場は中央と南部の2カ所に分け、研修を受けやすくし

た上で、昨年同様まずは参加の申し込みをして、研修会で活動先を決めます。

昨年度からサマチャレは大きくそのプログラムの見直しを図っています。長年続いてきたサマチャレですが、一時は600人を超える参加者があり、申し込みも機械的に処理せざるを得ない面もありました。でも、ボランティアセンターの担当者の間では、「本当の意味で参加の人たちの心に残る活動になつているだろうか？」、活動になつているだろうか？」、「サマチャレをきっかけに次の活動につながるような感動を得てもらつてているだろうか？」という疑問が年々大きくなつていました。そのため、昨年度は参加者一人一人の「やりたい気持ち」を大切にできるプログラムを模索しました。今年度もサマチャレは、やりたい気持ちに寄り添いつつ、さまざまなボランティア活動に触れてもらうため、会場は中央と南部の2カ所に分け、研修を受けやすくし

長野市災害ボランティア委員会だより



同じ活動をした仲間と想いを共有し
自分の気持ちを語り合う参加者

◆ストレスは「正常」

5月16日、被災地でボランティア活動をした仲間で、今感じていることを、ざつくばらんに話す「語ろう会」を開催しました。岩手県大槌町へのボランティア派遣を続ける中、活動後にストレスを感じていなかか、何かフォローが必要ではないか、と心配する声があがつてきたからです。

冒頭に、清泉女学院短期大学の安藤健一先生が、ボランティア等で支援する側も「隠れた被災者」だという話を紹介。災害現場での活動では、ストレスを感じることが「正常」で、誰にでもあること。「自分は大丈夫」「いつも通りだった」と過信はしないでほしいそうです。

◆ストレスは“正常”

5月16日、被災地でボランティア活動をした仲間で、今感じていることを、ざつくばらんに話す「語ろう会」を開催しました。岩手県大槌町へのボランティア派遣を続ける中、活動後にストレスを感じていなかか、何かフォローが必要ではないか、と心配する声があがつてきたからです。

◆新しい「つながり」

5月18日、支援ネットワーク(※)の主催で「企業の災害支援活動の取り組み」の紹介がありました。

◆地域を意識した店舗

大震災直後に対策本部を設置した㈱シユーマートは、茨城県水戸市にも店舗があり、地域との密着を強く意識している店長が情報発信をし、どこよりも早く物資が集まりました。また栄村役場には防寒靴とスリッパを用意し、現場で活動をする方を支援しました。

◆本業で貢献する

5月18日、支援ネットワーク(※)の主催で「企業の災害支援活動の取り組み」の紹介がありました。

シガ美容室は、震災3日目には、被災地へ新品タオル500枚を送り、災害で店舗を失った同業者へは、中古のハサミを研いで送りました。

また『本業で貢献する』ことも目指し、長野に避難してきている人に、ゆっくりと話を聴きながらカットをするボランティア活動も実施しています。



さまざまな取り組みが報告され
参加者は熱心に聞き入っていた

◆ボランティア休暇

ボランティア活動のための休暇システムを取り入れたのは、東日本システム建設㈱。社員が災害ボランティア活動をしやすいよう「災害支援特別休暇制度」を新設して支援し、「従業員と会社が一体となつた社会貢献」に取り組んでいます。

◆ボランティア休暇

5月18日、支援ネットワーク(※)の主催で「企業の災害支援活動の取り組み」の紹介がありました。

◆企業特性を活かした「温かい支援」

ささらに「宮古第二中学校の避難所で運動靴が足りない」という本委員会からの情報を知り、希望サイズに沿った靴を提供し、長野の子どもたちの「メッセージを添えた」温もりがなかつたら、きっと眠れなかつた「同じことを感じている人がいて、本当にホッとした」「新しくつながりを持てたことが嬉しい」といった、同じ活動を通してできた「仲間」の大切さに触れていました。

◆ボランティア休暇

ボランティア活動のための休暇システムを取り入れたのは、東日本システム建設㈱。社員が災害ボランティア活動をしやすいよう「災害支援特別休暇制度」を新設して支援し、「従業員と会社が一体となつた社会貢献」に取り組んでいます。

◆ボランティア休暇

今回の震災への支援は長期化が予想されます。企業は企業のできることを、無理なく長期間にわたり継続していくことが大切と強く思います。

(取材 支援ネットワーク 込山哲也)

のある贈り物として届けました。

ボラセニだより



↑始まるとすぐ笑顔
ちびっこゲストも→

田中さんによると、この会は今井団地の活性化や地域との連携を目的として開催されています。毎月第一土曜日開催で、毎回不同的なテーマで活動が行われています。

田中さんは「この会は、地域のつながりを強め、地域の活性化を目的としたものです。毎回不同的なテーマで活動を行っています。

田中さんは「この会は、地域のつながりを強め、地域の活性化を目的としたものです。毎回不同的なテーマで活動を行っています。

田中さんは「この会は、地域のつながりを強め、地域の活性化を目的としたものです。毎回不同的なテーマで活動を行っています。

田中さんは「この会は、地域のつながりを強め、地域の活性化を目的としたものです。毎回不同的なテーマで活動を行っています。

ひなたぼつこの会

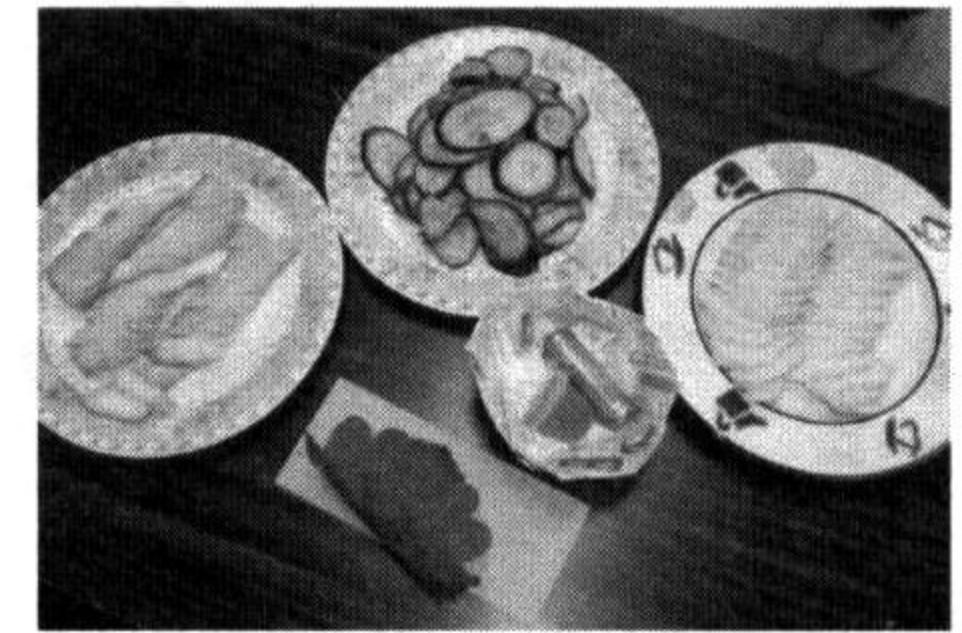
紫陽花の会

5月12日(木)、川中島



にある今井団地で開かれました。「ひなたぼつこの会」と「紫陽花の会」の合同お茶のみ会に出かけてきましたよ。

前日の日まで雨がザーザー降ってたんだけど、ぼくがお邪魔した午前中は久しぶりの晴れ！



お漬物おいしそう！
アツアツおぶっこも



「まちの縁側本」は、さまざまなまちの縁側を紹介する『まちの縁側の素』と、まちの縁側の開き方や発見の仕方などのノウハウをまとめた『まちの縁側の素 おすすめわけ』の2シリーズで構成されています。

これを見れば「縁側の極意がわかる」、これを見れば「縁側を開きたくなる」、これを見れば「縁側を探したくなる」本です。

興味のある方は長野市ボランティアセンターへお問い合わせください。



樂しませんこ盛りの中身



全国で初めて「まちの縁側」の本ができました。



いつもくんが行く！

ボランティアかわらばん7月号は6月30日(木)発行予定。
記事掲載希望は6月17日(金)までに原稿をお寄せ下さい。

情報かわらばん

講 座

NPO初歩講座

きほんのき「NPOってなあに」

「最近、いろいろなところでNPOって言葉を見聞きするけどいったいNPOって何?」と思ってる人もいるはず。この際だから聞きたいことを、「これから」の人たちのためにわかりやすく説明します。また長野市内NPOからゲストを迎えて、実際の活動現場を語っていただきます。

今回は特典として「NPO運営対策マニュアル(NPO便利屋推進委員会 編)」をもれなくプレゼント。気軽にお出かけください。

日 時：6月27日(月) 13:30～16:00

場 所：もんぜんぶら座 701会議室

内 容：第1部／「NPOとは」

講 師：長野市市民公益活動センター
副センター長 山室秀俊氏

第2部／市内NPO団体の活動紹介

ゲスト：NPO法人CO2/パンク推進機構
宮入健一郎氏

定 員：10人

参加費：300円 (資料代含む)

申込み：6月26日(日)までにTEL、FAX、メールのいずれかでお申し込みください

問：長野市市民公益活動センター（ぶらっと）

TEL：026-223-0051／FAX：026-223-0052

e-mail：npo@nagano-shimin.net

URL：http://www.nagano-shimin.net/



聞こえにくい人と 聞こえの支援をしたい人のための講習会

聞こえてくる話を書いて伝える要約筆記の講習会です。

聞こえに不便を感じている方、要約筆記のことを知りたい方はぜひお出かけください。

日 時：6月26日(日) 10:00～12:00

場 所：長野市障害者福祉センター 201

対 象：聞こえに不便を感じている人
聞こえの支援をしたい人

参加費：無料

問：長野手話サークル 要約筆記部（杉山）

TEL/FAX：026-217-3153



現場状況 5月分

相談件数	
ボランティアしたい	37 件
ボランティア求む	16 件
情報求む	22 件
ボランティア活動支援	2 件
ボランティア活動上の悩み	4 件
よろず相談・悩みごと	4 件
ボランティア保険・事故処理	6 件
その他	3 件
合計	94 件

(取りまとめ期間：4月16日～5月15日)

問い合わせ件数	
会議室予約	394 件
伝言	264 件
情報提供	820 件
機材貸し出し	192 件
チラシ・掲示板	54 件
その他	542 件
受付（よりいい会等）	649 件
合計	2915 件

その他	
情報カード受付	31 件
機材貸し出し	35 件
ボランティア保険加入	
ボランティア活動保険	127 件
行事用保険	19 件
在宅福祉サービス総合保険	2 件
送迎サービス補償保険	0 件
合計	148 件



第10回 失語症を支援する会話パートナー養成講座 受講生募集のお知らせ

言葉が不自由になった方と、主に長野赤十字病院内でお話しをしていただける方を募集します。「興味はあるけど、まったく初めてでもできるかしら…」そんな方のための養成講座(全2回)です。

言語聴覚士や、失語症を体験された方、そのご家族による話しを聞くチャンスもあります。大勢の方の参加をお待ちしております。

日 時：第1日目…6月16日(木) 10:00～12:30

第2日目…6月23日(木) 10:00～12:30

場 所：長野赤十字病院 基幹災害医療センター 2F

第2研修ホール

対 象：会話パートナー(ボランティア)をしていただける方

参加費：無料

問：長野赤十字病院言語聴覚科（林）

TEL：026-226-4131(代)／FAX：026-228-8439

講 演 会

中村文昭講演会「耕せながの」2 D A Y S

3.11東日本大震災。「今、自分たちにできることは何か?」腹に落として考える時だと思います。

東部会場は「頼まれごとは試されごと」、若里会場は大震災を経験して「これから何ができるか」を演題に連日講演を開催します。講演会に参加して長野市民が元気になり、みんなで東日本を応援する第一歩にしましょう。

当日は災害支援金箱を設置します。

日 時：6月30日(木) 長野市東部文化ホール

(長野市小島804-5)

7月1日(金) 長野市若里市民文化ホール

(長野市若里3-22-2)

いずれも19:00～21:00 (18:30受付)

入場料：前売／大人1,500円 学生 800円

当日／大人2,000円 学生1,000円

(小学生以下無料 託児は要相談)

問：中村文昭講演会実行委員会（込山）

TEL：090-3585-1680



情報かわらばん

災害支援

一校ひとくみ：ながの

東日本大震災被災児童・生徒に対する就学支援

長野県内の学校に通う間のホームステイ先「ホストファミリー」を募集しています。

被災地の子どもたちが楽しく過ごすためにも、保護者の方たちが安心して子どもを送り出してもらうためにも、被災地の子どもを同じ学校、地域で受け入れるシステムです。

問：一校ひとくみ：ながの ホストファミリー登録係

TEL：026-228-1929／FAX：026-228-8192

URL：<http://www.ikko-hitokumi-nagano.jp>

いざという時のための

「地震と防災」がよくわかる入門講座

いざという時のために一緒に勉強しましょう。

①信州大学出前講座「地震と防災のはなし」

②聴覚障害者の防災と支援について

日 時：6月18日(土) 13:30～16:00

場 所：長野県障害者福祉センター・サンアップル ホール

講 師：信州大学工学部 泉谷恭男教授

対 象：関心のある方ならどなたでも参加できます。

参加費：無料（申し込み不要）

問：長野県聴覚障害者情報センター（花崎）

TEL：026-295-3530／FAX：026-295-3567

e-mail：sun-lib@mx2.avis.ne.jp

リサイクルゴミ箱で被災地支援をしよう

捨てればただのゴミとなってしまうプラスチックテープを使ってカラフルなゴミ箱を作り、被災地に寄付します。かごあみの経験がない方でも大丈夫。お気軽にご参加ください。はさみ、洗濯バサミ(小)10ヶ、新聞(朝刊1日分)、タオルをお持ちください。

日 時：6月14日(火) 13:30～15:30

場 所：かがやきひろば松代

参加費：無料

問：かがやきひろば松代（小宮山）

TEL：026-278-0050



震災復興応援コンサート

一緒に歌って元気を!! 子どもから大人まで歌で心をひとつにし、被災地を応援しましょう。

第1部／アンサンブル・ヴィヴォーチ

第2部／一緒に歌いましょう（「ふるさと」他）

日 時：7月3日(日) 14:00開演(13:30開場)

場 所：長野県障害者福祉センター・サンアップル

入場料：無料（当日の募金は義援金として送ります）

問：アンサンブル・ヴィヴォーチ

長野県障害者福祉センター・サンアップル

TEL：026-295-3441／FAX：026-295-3551(サンアップル)

募 集

ボランティアの募集

ベイシア長野東店への買い物外出のお手伝いをしてくださるボランティアの方を募集しています。

日 時：6月22日(水)・23(木)・24(金)・27(月)・28(火)

いずれも14:00朝日ホームデイサービスセンター集合

内 容：デイサービス利用者さんの付き添い

買い物のお手伝い（車イスを押していただきます）

定 員：1日5人

持 手 物：時計、服装は自由です

問：朝日ホームデイサービスセンター（竹ノ内）

TEL：026-241-8000／FAX：026-215-1222

Saya Cafe 女子限定のお茶会です

今年長野へ引っ越してきた人、おしゃべりしましょう。長野のあれこれ、お店のことや町のこと、遊ぶところはどこ? etc. ゆるくて、ほっこりした時間を一緒に過ごしましょう。

日 時：6月11日(土) 10:00～12:00

場 所：長野市ふれあい福祉センター 1F テーブル

参 加 費：100円

持 手 物：マイカップ

問：Saya Cafe

TEL：090-9359-8204



イベント

犬と一緒に食べられるスイーツの会

飼い主さんとワンちゃんと一緒に食べられる「スイーツ」を作ってみませんか？ワンちゃんはおいしいものが大好きです。人と犬とのコミュニケーションのためにおいしいもののが役に立ちます！ワンちゃんと笑顔いっぱいにくらすために、スイーツの会へご参加おまちしています。

日 時：6月14日(火) 10:00～11:30

場 所：長野市ふれあい福祉センター 調理室

定 員：15人 どなたでも

參 加 費：1,500円

問：犬の笑顔応援団（阿部）

TEL：090-4969-3041／FAX：0267-62-2532

e-mail：avec-goody@nifty.com



ご寄付ありがとうございました!

ハガキ、切手、電話カード、ベルマークなど
4月21日～5月20日分

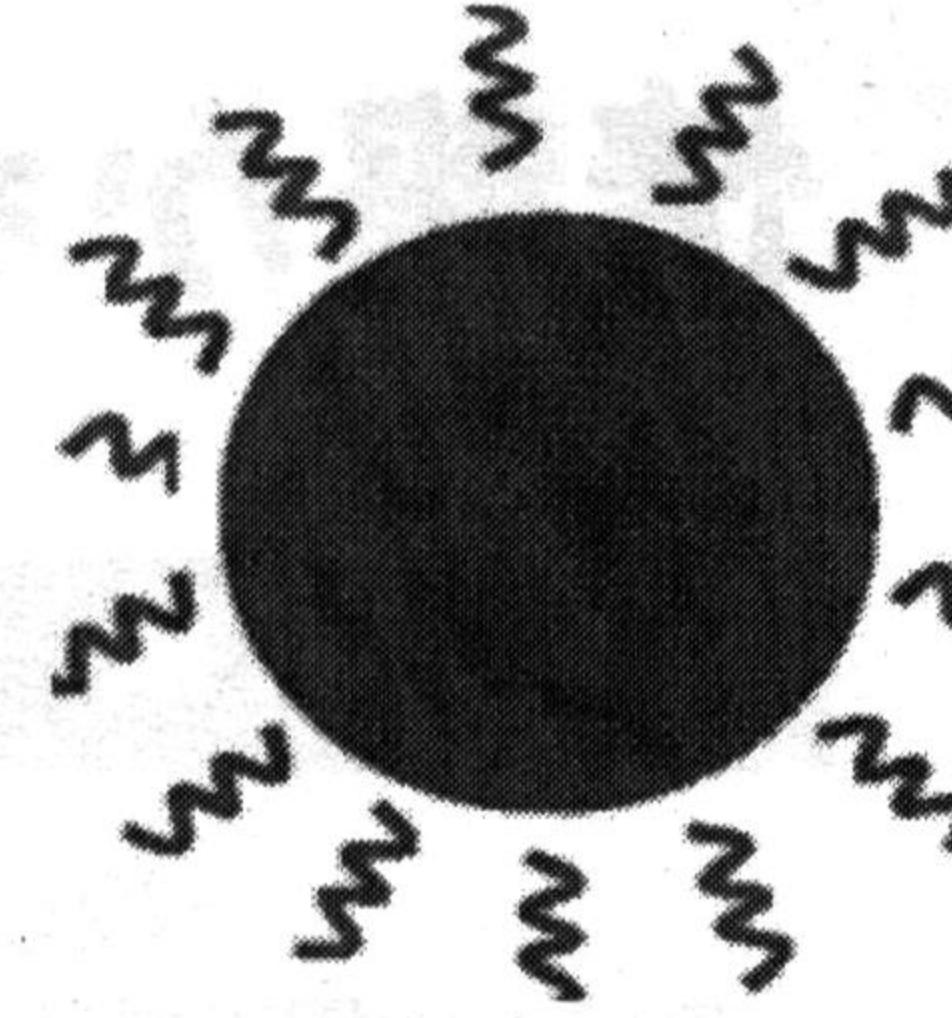
梅翁園、長野市国民健康保険課、若槻小学校、松下信彦、
小金沢史彦、前田鉄工所、信州大学付属長野中学校、
北原宗子、石原京子、新光電気工業㈱（敬称略）

有効に活用させていただきます

2011年

6月

ボランティア かわらばん



ボランティア情報誌

発行所／〒380-0813 長野市緑町1714-5 長野市ボランティアセンター内

Tel : 026-227-3707 Fax : 026-224-1513

URL <http://vnetnagano.or.jp> E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp

この夏！なりたい自分になれる！ サマーチャレンジボランティア2011

やってみたい！という気持ちが人の力になる。あなたも自分の得意なことを生かして、この夏ボランティアにチャレンジしてみよう！

◆申し込み方法◆ 5月28日(土)～6月21日(火)
パンフレットに添付の申込み用紙にて

◆事前研修会◆ 7月9日(土)・10日(日)
事前・事後研修会を2か所(中央・南部)で行います。
研修会場を決めて申込みをしてください。
◎気持ちを育てるための研修会です。
この研修会に参加しないと活動先は決められません。
◎「やってみたいこと」から活動先を決めます。

◆活動期間◆ 7月25日(月)～8月26日(金)

受入先一ヶ所につき3日間以上の活動をします。

◆事後研修会◆ 9月4日(日)

活動を振り返り、想いを話し合います。

◆事前事後研修会会場と日程◆

【中央地区】

会 場：長野市ふれあい福祉センター

事前研修日：7月9日(土) 13:30～17:00

事後研修日：9月4日(日) 9:30～12:00

【南部地区】

会 場：更北公民館体育館

事前研修日：7月10日(日) 13:30～17:00

事後研修日：9月4日(日) 14:00～16:30



2011年度 コーディネート力養成講座 ～コーディネート力をつけて地域力アップ！～

地域を元気にするために、または、組織・グループの活動を発展させるためにはコーディネートをする力が必要です。本講座は、「受けとめる」・「つなげる」・「創りだす」などコーディネートに必要な力を身につけた人材を育てるための講座です。施設で、学校で、地域で参加しませんか。

■基礎編■

- ① 6月15日(水) 13:30～16:30
「地域づくりに必要なコーディネート力」
内山二郎氏（長野市ボランティアセンター運営委員長）
- ② 6月28日(火) 13:30～16:30
「地区にボランティアセンターができるとこんなことができる」
筒井のり子氏（龍谷大学教授）
- ③ 6月29日(水) 10:00～16:00
「相談援助技術を学ぶ」 筒井のり子氏（龍谷大学教授）
- ④ 8月
「コーディネートに必要な受け止める力／傾聴の基本を学ぶ」
末松涉氏（日本橋学館大学准教授／臨床心理士）

■実践編■

- ⑤ 9月(予定) 「ファシリテーションで合意形成」
- ⑥ 9月 「協働ですすめる地域福祉」
- ⑦ 10月 「魅力あるボランティア講座の組み立て方」
- ⑧ 10月(予定) 「情報発信上手になろう」
- ⑨ 11月 「回想法を取り入れる」
- ⑩ 11月 「住民支えあいマップの手法」
- ⑪ 7月～9月 「コーディネーター実習」
- ⑫ 10月(予定) 「住民ディレクターを目指して」
- ⑬ 8月～11月 「まちの縁側実践講座①・②・③」
(予 定) 「まちの縁側大楽 1・2」（選択で2講座）
- ⑭ 12月6日(火)・7日(水) 「活動プログラム開発」
- ⑮ 12月 「ネットワークをつくる」
《問合わせ先》
長野市ボランティアセンター TEL:227-3707